

安全 **で** **住** **み** **よ** **い**

まちづくり

ニュース

防災交通課
(内208)

防災への意識改革

58

「緊急地震速報」を知っていますか

などで避難行動を取ることで、被害を軽減することが期待されています。

「緊急地震速報」を適切に活用す

「緊急地震速報」とは、地震の揺れは、震源から波紋のような波（地震波）として伝わってきます。地震波には二種類あり、P波（初期微動）とS波（主動波）です。最初に伝播の速いP波（毎秒約七キロメートル）がカタカタと伝わり、次に強い揺れのS波（毎秒約四キロメートル）が伝わります。地震による被害は主に後から伝わるS波によってもたらされます。

「緊急地震速報」とは、気象庁が地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえたP波の観測データを解析し、震源や地震の規模を直ちに推測して、各地でのS波の到達時間や震度を推定し、IT技術を活用して可能な限り素早く知らせることを目指す新しい情報です。

「緊急地震情報」への期待と限界
この情報を利用して、受信した列車やエレベーターを素早く制御して危険を回避し、工場や事務所、家庭

なぜ揺れる前に地震の発生を知らせることができるのか

出典：気象庁「『緊急地震速報』をご存知ですか？」のパンフレットから

しかし、「緊急地震速報」で、情報を音声で発表してから強い揺れが到達するまで、長くても十数秒から数十秒と極めて短く、震源に近い場所や内陸の直下型地震では、情報の伝達が強揺れに間に合わないことがあります。

ごく短時間のデータだけを使った情報なので、予測された震度に誤差を伴うなどの限界もあります。

「緊急地震速報」の実証実験
気象庁では、早期に広く一般に提供できるよう、必要な検討や周知・広報などを進めています。平成十八年八月から「緊急地震速報」の先行的な提供（現時点で提供しても混乱を生じないと考えられる分野に限る）を開始しました。

阿久比町役場でも庁舎内にケーブルテレビ回線を利用した試験受信機を二月に設置しました。

避難所の見直しを行いました

東海豪雨の被災経験から英比小学校を、風水害時の避難所の指定から外しました。

城山保育園の建物の一部が、平成十八年六月に愛知県土砂災害危険区域に指定されましたので、城山保育園を避難所の指定から外しました。

この避難所の解除については、二月二十二日に開催された阿久比町防災会議で審議され、承認されました。